

パートナーとの取り組み

国際海岸清掃ボランティア活動

日本コカ・コーラおよびコカ・コーラシステム関連会社の従業員は、国際海岸清掃ボランティア活動(ICC: International Coastal Cleanup)の一環として、全国各地の清掃活動に参加しています。ICCとは、海洋生物に関する環境教育センターとして設立し、全米一の海洋自然保護団体「オーシャン・コンサバancy (Ocean Conservancy)」の主催で始まった世界最大規模の海岸クリーンアップキャンペーンです。ICCでは世界各地で収集されたごみのデータを収集・蓄積して、世界のごみ問題解決に活用しています。

日本では2007年からICC活動をスタートし、琵琶湖や屋久島、宮城県七ヶ浜海岸、茨城県常総市利根川周辺、沖縄県、千葉県釣ヶ崎海岸など、全国各地でコカ・コーラシステムの社員が就業時間中に、業務の一環として清掃活動に取り組んできました。

2021年10月、全国17カ所以上で実施した清掃活動では、世界111カ国以上で利用されているごみ拾いSNS「PIRIKA(ピリカ)」を導入しました。



琵琶湖のごみを拾うホルヘ・ガルドゥニョ社長(左)と宮本和宏守山市長



ごみ拾いSNS「PIRIKA」に活動を投稿

NPOグリーンバード支援

日本コカ・コーラでは2008年より、清掃活動やまちづくりを行う特定非営利活動法人「グリーンバード (green bird)」とのパートナーシップにより、全国各々でのクリーンアップ活動に継続的に取り組んでいます。グリーンバード主催による毎年恒例の清掃イベント「ごみゼロWEEK」では、全国各地、約30チームが清掃活動を行っています。



2019年「ごみゼロWEEK」での清掃活動のようす